



第20回 <けいはんな>新産業創出交流センター シーズフォーラム

～ 東北大学 金属材料研究所関西センターのシーズ紹介 ～



本年3月11日の東日本大震災では、日本屈指の研究力を誇る東北大学も極めて大きな被害を受けています。しかし、優れた技術によるイノベーションこそ、経済成長の基盤になり、被災地復興の手掛かりにもなる。そうした考えから、私どもは、シーズフォーラムでは初めて、その東北大学を取り上げることとしました。

大阪府立大学および兵庫県立大学内に設置された「東北大学金属材料研究所附属研究施設関西センター」は、ナノ金属材料の学術研究とその工業的視点に基づいた実用化を目的としており、「東大阪クリエーションコア」内にサテライトオフィスを設け、モノづくり中小企業との連携により、金属加工関係の技術シーズの事業化や、共同研究に取り組んでいます。今回のフォーラムは、同センターの取り組みと技術シーズを紹介することにより、企業とのマッチングと事業化推進の機会の場を設け、ひいては、東北産業復興支援の一助となることを目指しています。

- 日時 2011年10月13日(木) 14:00～17:35 (名刺交換会 17:40～18:30)
- 場所 関西経済連合会 会議室 (大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル)
- 主催 財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 新産業創出交流センター
- 共催 東北大学 金属材料研究所附属研究施設関西センター、公益社団法人 関西経済連合会

*** プログラム ***

- | | |
|--|------------------------|
| ○ 開催挨拶
(財)関西文化学術研究都市推進機構 大阪オフィス所長 | 14:00～14:05
佐藤 有彦 |
| ○ シーズ紹介 (講演時間 30分+質疑 5分) | |
| 1. 東北大学金属材料研究所 附属研究施設関西センターの取り組み紹介
東北大学金属材料研究所 関西センター長 | 14:05～14:15
正橋 直哉 氏 |
| 2. 東北大学金属材料研究所 関西センターのシーズ紹介 | |
| (1)「加工熱処理による高炭素複相鋼の高強度-高延性化」
東北大学金属材料研究所 教授 | 14:15～14:50
古原 忠 氏 |
| (2)「高温で硬くて強い金属間化合物合金を用いた新規耐熱・耐摩耗材料」
大阪府立大学工学研究科 教授 (東北大学金属材料研究所 客員教授) | 14:50～15:25
高杉 隆幸 氏 |
| (3)「金属ガラス(アモルファス合金)とその実用化技術」
東北大学金属材料研究所 教授 (兵庫県立大学工学研究科 客員教授) | 15:25～16:00
早乙女 康典氏 |
| (4)「陽極酸化二酸化チタンの光誘起機能」
東北大学金属材料研究所 教授 | 16:15～16:50
正橋 直哉 氏 |
| (5)「新規プロセスを用いたナノポーラス構造を持つセラミックスの開発」
大阪府立大学工学研究科 教授 (東北大学金属材料研究所 客員教授) | 16:50～17:25
中平 敦 氏 |
| ○ けいはんなからの東日本震災被災地復旧・復興支援
「低炭素焼却炉による震災瓦礫処理の提案」
(財)関西文化学術研究都市推進機構 研究員 | 17:25～17:35
有門 巖 氏 |
| ○ 名刺交換会 | 17:40～18:30 |